

[公開用]2024 年度卒業時アンケート報告

卒業時アンケートは、卒業時点における本学への満足度や卒業生自身の DP 達成度（自己評価）などを確認し、学内の施設や設備、学生支援、カリキュラムなどの改善に活用することを目的として行っている。本報告では、学部生の結果について報告する。

実施概要

対象者：2024 年度卒業生

実施時期：2025 年 2 月 19 日～28 日

実施方法：Google Form を用いた WEB アンケート

回答率：92.2%

学科ごとの回答率は以下のとおりである。

	日文	英文	西文	文化史	地球市民	合計
卒業者数	82	109	51	115	65	422
回答者数	73	103	46	111	60	389
回答率	89.0%	94.5%	90.2%	96.5%	92.3%	92.2%

結果概要

教育の環境(表 1)

運動施設および食事・物販施設については、ほかの項目よりも不満層の割合が高かった。

学びの支援(表 2)

留学・国際交流支援および課外学習支援については、利用していない学生が半数以上であった。どの項目についても、おおむね満足層の割合が高かった。

正課での学び（学科ごと）(表 3)

どの項目についても満足層の割合が高かったが、どの学科においてもシラバスについてはやや不満層の割合が高かった。地球市民学科においてはカリキュラムについても不満層の割合が高かった。

全学 DP の達成（DP 達成度：平均値）(表 4)

学生の達成度自己評価スコア（1 から 5）を平均したもの。どの DP も達成の基準値(3)は超えているものの、DP4（日本語や英語などによるコミュニケーション能力）・DP1（キリスト教ヒューマンイズムの理解）については、他の DP よりも低かった。

学科 DP の達成(表 5)

全学 DP と同様に、学生の達成度自己評価スコア（1 から 5）を平均したもの。どの学科においても、学科 DP は達成の基準値(3)を超えているものの、言語コミュニケーションに関する学科 DP については、学科によらず他の学科 DP よりも低い傾向がみられた。

図表

表 1：教育の環境

	満足層(満足・ やや満足)	不満層(不満・ やや不満)
1-1-1. 教室設備（机・椅子・黒板・照明など）	95%(368人)	5%(20人)
1-1-2. 教室設備（プロジェクター・書画カメラ・教室設置パソコン・マイク・スピーカーなど）	96%(374人)	4%(14人)
1-1-3. 運動施設（奥庭・講堂など）	84%(326人)	16%(62人)
1-1-4. 食事・物販施設（清泉カフェ・食堂・ラファエラショップなど）	77%(298人)	23%(90人)
1-1-5. 学習環境（ラーニングコモンズや図書館の座席数・設備・蔵書など）	94%(366人)	6%(22人)
1-1-6. 情報環境（WiFi・プリンタ・充電環境・貸出パソコンなど）	91%(355人)	9%(33人)

表 2：学びの支援

	満足層(満足・ やや満足)	不満層(不満・ やや不満)	利用してい ない
1-2-1. 奨学金制度（金額・規模・広報など）	48%(186人)	5%(21人)	47%(181人)
1-2-2. 留学・国際交流支援（学科の留学制度・国際交流センターでの相談）	41%(158人)	5%(20人)	54%(210人)
1-2-3. 卒業論文・卒業レポート支援（学科研・ライティングアドバイザーなど）	70%(272人)	4%(17人)	26%(99人)
1-2-4. 外国語の課外学習支援（語学講座・試験補助など）	53%(205人)	4%(16人)	43%(167人)
1-2-5. 正課外の資格取得支援（学内講習・試験補助など）	47%(183人)	4%(14人)	49%(191人)
1-2-6. 正課外の学習活動支援（清泉PBL・IICSなど）	44%(169人)	4%(14人)	53%(205人)
1-2-7. 学習支援（各学科研究室の助手やTAなど）	62%(240人)	5%(20人)	33%(128人)
1-2-8. 情報環境利用支援（パソコン利用相談など）	53%(207人)	5%(20人)	41%(161人)
1-2-9. 課外活動支援（サークル・委員会・ボランティア活動など）	54%(209人)	7%(28人)	39%(151人)
1-2-10. 学生生活支援（履修・学業・生活上の悩みの相談など）	61%(238人)	5%(18人)	34%(132人)
1-2-11. キャリア支援（就職相談など）	76%(294人)	6%(25人)	18%(69人)

表 3：正課での学び（学科ごと）

		満足層(満足・やや満足)	不満層(不満・やや不満)
日文	1-3-1. カリキュラム（科目の配置や履修の体系）	94%(68人)	6%(4人)
	1-3-2. シラバスの記載	90%(65人)	10%(7人)
	1-3-3. 個々の授業内容（教養科目）	94%(68人)	6%(4人)
	1-3-4. 個々の授業内容（専門科目）	93%(67人)	7%(5人)
	1-3-5. 成績評価	96%(69人)	4%(3人)
	1-3-6. 教員との関わり（オフィスアワーを含む）	96%(69人)	4%(3人)
英文	1-3-1. カリキュラム（科目の配置や履修の体系）	96%(98人)	4%(4人)
	1-3-2. シラバスの記載	88%(90人)	12%(12人)
	1-3-3. 個々の授業内容（教養科目）	97%(99人)	3%(3人)
	1-3-4. 個々の授業内容（専門科目）	96%(98人)	4%(4人)
	1-3-5. 成績評価	96%(98人)	4%(4人)
	1-3-6. 教員との関わり（オフィスアワーを含む）	92%(94人)	8%(8人)
西文	1-3-1. カリキュラム（科目の配置や履修の体系）	96%(43人)	4%(2人)
	1-3-2. シラバスの記載	87%(39人)	13%(6人)
	1-3-3. 個々の授業内容（教養科目）	98%(44人)	2%(1人)
	1-3-4. 個々の授業内容（専門科目）	100%(45人)	
	1-3-5. 成績評価	98%(44人)	2%(1人)
	1-3-6. 教員との関わり（オフィスアワーを含む）	98%(44人)	2%(1人)
文化史	1-3-1. カリキュラム（科目の配置や履修の体系）	95%(104人)	5%(6人)
	1-3-2. シラバスの記載	93%(102人)	7%(8人)
	1-3-3. 個々の授業内容（教養科目）	97%(107人)	3%(3人)
	1-3-4. 個々の授業内容（専門科目）	100%(110人)	
	1-3-5. 成績評価	97%(107人)	3%(3人)
	1-3-6. 教員との関わり（オフィスアワーを含む）	98%(108人)	2%(2人)
地球市民	1-3-1. カリキュラム（科目の配置や履修の体系）	88%(52人)	12%(7人)
	1-3-2. シラバスの記載	85%(50人)	15%(9人)
	1-3-3. 個々の授業内容（教養科目）	93%(55人)	7%(4人)
	1-3-4. 個々の授業内容（専門科目）	93%(55人)	7%(4人)
	1-3-5. 成績評価	92%(54人)	8%(5人)
	1-3-6. 教員との関わり（オフィスアワーを含む）	92%(54人)	8%(5人)

表 4：DP 達成度（平均値）

DP1. キリスト教ヒューマニズムに基づく建学の精神を理解している。	3. 81
DP2. 教養と専門領域の学芸を修得し、それを活かして社会に貢献することができる。	4. 05
DP3. 事象に向き合い、資料やデータに基づいて論理的に考え、その考えを説明できる。	3. 99
DP4. 日本語や英語など、複数の言語圏のコミュニケーション能力を身につけている。	3. 70
DP5. 文化の多様性を理解し、個々の文化の個性を尊重することができる。	4. 40
DP6. 自分に求められる知識と技能を学び続けることができる。	4. 27

表 5：学科 DP 達成度

日文	日文DP1. 日本語学・日本古典文学・日本近代文学の専門的知識を修得している。	4.26
	日文DP2. 日本語学・日本古典文学・日本近代文学の知見に基づく調査能力と論理的思考力と表現力を修得している。	4.35
英文	英文DP1. 英語運用能力に裏打ちされたコミュニケーション力を修得している。	3.88
	英文DP2. 英語圏を中心とした多様な文化への理解があり、異なった考え方を持つ他者への想像力や洞察力を身につけている。	4.26
	英文DP3. 視野を広げ、教養を深めることによって、課題を論理的に考察することができる。	4.16
	英文DP4. 国際社会の一員として、自己と社会に真摯に対峙する姿勢を有している。	4.25
西文	西文DP1. スペイン語の基本技能(読む、書く、話す、聞く)を修得している。	4.00
	西文DP2. スペイン語圏文化の多様性を理解することができる。	4.49
	西文DP3. スペイン語圏の言語・文学・地域文化のいずれかについて専門的知識を持ち、自らの問題として発信することができる。	4.16
文化史	文化史DP1. 歴史・美術史・思想史・宗教史の四つの専門分野ならびに関連分野を学修し、いずれかの分野の専門的能力を身につけている。	4.24
	文化史DP2. 先入観や偏見にとらわれることなく、広い視野から専門分野にかかわる諸問題に取り組み、批判的・自律的に考えることができる。	4.25
	文化史DP3. 異文化や他者を理解し、よりよい世界の構築に寄与しようという意識をもって思索を重ねることができる。	4.29
地球市民	地民DP1. グローバル社会が抱える課題を、自分自身が取り組むべき、身近な問題として理解できる。	4.34
	地民DP2. 「自分自身が取り組むべきだと信じる問題」を解決するために、他者と協働しながら行動することができる。	4.37
	地民DP3. 「自分自身が取り組むべきだと信じる問題」に対して、具体的な解決策を提示し実践することができる。	4.22
	地民DP4. 「創造的な問題解決」を具体的に実践する過程で、必要な情報を効果的に発信することができる。	4.32
	地民DP5. 一連のプロセスを行う上で必要な日本語および英語の運用能力を備えている。	3.97

以上